

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	マミーぽぷら保育園	施設住所	武蔵野市中町1-32-1 アヴニール吉祥寺1階	法人名	株式会社ニューマン
-----	-----------	------	-------------------------	-----	-----------

1 活動テーマ

水の性質

～テーマを設定した理由～

・今年度の夏は、水遊びが出来ず室内遊びをどのように楽しむかというのを職員と相談し、沐浴を行い、普段使っている水には毎日触れることが出来ているが、水も様々な形があるという事を子どもに目で見て、実際に触れて感覚遊びをするという目標の元、設定した。

2 活動スケジュール

- ・日々の沐浴（6月下旬～9月下旬）
- ・スライム作り（2歳児のみ／7月）
- ・寒天遊び（全クラス／7月～8月）
- ・上記活動は、一日の活動の主活動の中で行う。

3 準備するもの 環境設定

～準備するもの～

<沐浴>

沐浴：水遊び玩具、ボディークリーム

水遊び：ビニールプール、水、水はけマット

<スライム作り>

プラコップ、絵具、洗濯のり、ホウ砂、割りばし、お湯

<寒天遊び>

水、食紅、寒天の粉

上記に加え、全ての活動にカメラとノートPCを使用

3 準備するもの 環境設定

～環境設定～

沐浴：水遊びのように楽しんだりボディークリームを使って泡遊びを楽しむようにする。

水遊び：玄関先での水遊びでは直接日が当たらないように工夫してWBGT計測器を設置し暑さ指数の確認を常に行なう。屋外なのでこまめに水分補給を行なう。

スライム作り：誤飲等がないように職員を配置し、制作から遊びまでみんなが楽しめるように行う。

寒天遊び：誤食誤飲がないように職員を配置し子どもが思いきり楽しめるように、数多くの寒天を用意する。

4 活動当日 子どもの姿 保育者の関わり

～沐浴～全クラス

沐浴は、例年通りほぼ毎日行い行った。

当初は水を嫌がる姿だったり、沐浴室が狭い空間なのでそれを怖がってしまう子どもがいたが、7月下旬になると「今日シャワー出来る？」などの沐浴をする事への期待する質問をしたりする姿だったり、水遊び用の玩具を大いに使って沐浴を楽しむ姿があった。

～水遊び～0歳児

水遊びは、人数が少ない0歳児のクラスだけ行った。

初めて見るであろうビニールプールに最初は恐怖心を抱いている様な様子もあったが、保育者が子どもに少しずつ水をかけたりすると子どもも慣れ始め、水遊び用の玩具を使ってダイナミックに水遊びをしていた。水遊び用の玩具の中にお玉があり、お玉を使って空の容器の中に水を移したりじょうろの中に水を入れて水を注いだりと玩具の使い方を理解して、玩具で遊ぶ姿が見られた。

・沐浴や水遊びを嫌がってしまう子どもに対しては、無理強いをせず子どものペースで行なうようにしていき、活動中は子ども同士でも玩具を交換したり、笑顔を見せながら活動していた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	マミーぽぷら保育園	施設住所	武蔵野市中町1-32-1 アヴニール吉祥寺2階	法人名	株式会社ニューマン
-----	-----------	------	-------------------------	-----	-----------

4 活動当日 子どもの姿 保育者の関わり

～スライム作り～2歳児
スライムという物を知らずに、自分の好きな色で作ることを決めこれから何が出来るんだろうというというワクワクと、自分で作る事の楽しみが加わり、出来上がり実際に触ってみると不思議な感触に喜んだり、不思議な表情を浮かべたり、ただ凝視したり、様々な反応を見せてくれた。片付けになると「まだ遊びたい!」という声も多かったので、ジップロックに入れて自宅でも遊べるように工夫した。

・自身で何かを作ってみるという事が初めてで、何が出来るのかとそわそわしながら不思議そうに作っている様子だった。保育者の作り方を聞いていたのでみんながきれいに作り上げることができた。作り方が分からない子どもに対しては、分かりやすく子供の手を取りながら一緒に作った。また、スライムを触れない子どもには無理強いをすることなく子どものタイミングで触れるようにしていった。

5 振り返り

～沐浴～
職員数の問題もあるが、少し時間に余裕がないような気もしていた。職員数も少なく、子どもの人数は多い時ほど焦って沐浴をするような感じもあるので、来年度は職員数も気にしつつ余裕を持って子どもが沐浴をする時間が長くなるようにしていきたい。

～水遊び～
今年度は暑さ指数（WBGT）が基本的に高く水遊びを行なうことができなかった。また、水遊びの後に沐浴を行なうので時間が限られてしまうので人数が少ない0歳児クラスしか水遊びを行う事が出来なかった。2人だけではあったが、水遊び用玩具の使い方を理解しながら使い3回目にはダイナミックに水を叩いたりして楽しんだ姿も見られた。猛暑は対処のしようがないが、暑さ指数が低い時には、積極的に水遊びを行ってみたい。

～寒天遊び～全園児

寒天遊びは全クラス2回行い、1回目は不思議そうに寒天を見つめたりちょっとだけ触ってみたり恐る恐る触ってみる子どもが多数ではあったが、2回目はカラフルな寒天が出来上がりダイナミックに潰したり、色々な色の寒天をお混ぜ合わせたり、今まで手が汚れるのが苦手な子どもが触れられたりと思い思いに遊べる事が出来た。

・1回目からダイナミックに遊び子どもがいた為、2回目には全テーブルにサラップを巻き片付けをすぐに出来るようにした。また、誤飲等がないように各テーブルには職員を一人配置し、子どもを見守った。

はっせいしたいい。

～スライム作り～

・まずは、怪我もなく誤食誤飲等が起こらずに行うことが出来た。また、手順等に関しても子どもが理解しやすく行えることが出来た。出来上がりに関しては、それぞれが好きな柔らかさだったり色だったりを選択することで子どもの思いを汲み取りながら活動を行えた。

～寒天遊び～

・各々遊び方が違い、触っているだけだったりダイナミックに潰したりして遊んでたりと、色々だったが、気分が高揚してしまうと床に捨てたりもしていたので片付けに時間がかかってしまった。机は片付けやすいようにラップを巻いたが床は何もしなかったので何か工夫をして、片付けやすいようにしていきたい。



柔らかくて気持ちいいなー！



寒天ボール触れたよ！



ちょっと触ってみようかな？



この玩具面白



頑張って作る
ぞー！



にぎにぎ。



ぐちゃぐちゃ！



冷たい！



お家に持っ
て帰って遊
ぼうね！



なんだこれ？



一緒にお水触ろー！



お湯あったか
いね！

施設名	マミーぽぷら保育園	施設住所	武蔵野市中町1-32-1 アヴニール吉祥寺1階	法人名	株式会社ニューマン
-----	-----------	------	-------------------------	-----	-----------

1 活動テーマ	3 準備するもの 環境設定
体の使い方～体操、ダンス～ ～テーマを設定した理由～ ・室内遊びで音楽に合わせて踊る体操、散歩に出る前の身体を温める体操がとても大好きで、一本橋や飛び石などの少し難しい室内遊具を使った運動でも体の発達に合わせた組み合わせをしたりして楽しそうに遊んでいます。様々な体の使い方を楽しめたらと思い、このテーマにしました。	～環境設定～ ①：ぶつからないように全体的に広がったり、音楽のリクエストがあればそれを流してみんなで踊ったりして身体を動かす。 ②：各クラス発達に合わせた配置を行い、保育者の補助が必要な場合は補助を行う。回る方向だったり、規則性をわかりやすく伝える。 ③：外部講師の方の指示にしたがって、子どもと一緒に体を動かしたりする。
2 活動スケジュール	4 活動当日 子どもの姿 保育者の関わり
・日々の音楽に合わせた体操（全クラス／室内活動時） ・一本橋や飛び石（全クラス／室内活動時） ・体操教室（2歳児のみ／3月）※外部講師の指導 ※上記活動は、一日の活動の主活動の中で行う。 ※体操→①、一本橋→②、体操教室→③と以下記載。	～①～全クラス こちらの活動は、全クラス日々の保育で行っていることではあるが、クラスごとに流れる音楽を変え様々な体操を日々楽しんでいる。 0歳児 他クラスの音楽が流れている際に、手拍子をしたり、体を少し動かしてみたり、合同保育の際に踊っている他クラスの体の動きを真似たりしている。 1歳児 ゆったりした音楽が流れるときには、室内をぐるぐる回って歩いたり、友だちと手を繋いで歩いたりしている。 自宅でも音楽を流してダンスや体操をする家庭が多く、ダンスや体操の時間になると子どもも嬉しがり「〇〇踊りたい！」という要望の声が聞こえることが多い。 2歳児 少し身体の使い方が難しい音楽だったり、自宅によく聞いている音楽に合わせて自由に身体を動かしたりしている。 初めて耳にする音楽が流れると、保育者の動きを見て見よう見まねをして体操をしている。
3 準備するもの 環境設定	
～準備するもの～ <音楽に合わせた体操> iPad、スピーカー <一本橋や飛び石> 一本橋、飛び石 <体操教室> マット×2 上記に加え、全ての活動にカメラとノートPCを使用	

施設名	マミーぽぷら保育園	施設住所	武蔵野市中町1-32-1 アヴニール吉祥寺1階	法人名	株式会社ニューマン
-----	-----------	------	-------------------------	-----	-----------

4 活動当日 子どもの姿 保育者の関わり	5 振り返り
・みんなが聞き馴染みのある曲だったり、リズムの早くない曲を流したりして身体を動かしていく。また、活動に参加することにあまり意欲のない子どもには無理強いをせずに参加できるタイミングを見計らいながら、身体を動かしていく。 ～②～ 1、2歳児 雨の日だったり、外気温が暑く外に出れない日にこの活動を行ったりする。組み合わせ方は自由であるが、発達に合わせた組み合わせを行い難易度を変えていく。 1歳児 保育者の補助が必要ではあるが、一本橋をバランスよく歩いて達成感を味わったり、各所に置かれている飛び石の上に乗ってバランスを保ちながら立ったりすることができている。 2歳児 秋ぐらいには、保育者の補助なしで一本橋の上を歩いたり、飛び石から飛び石に渡ったりすることが出来るようになっていった。少し難易度が難しい組み合わせでも挑戦しようとする気持だったり、保育者へ助けを求めながらもやり切ろうとする姿が見られた。 ・身体の動かし方が難しい子どもに対しては、常にすぐサポートが出来るように傍について見守る。こちら①と同様に参加に意欲がない子どもに対しては無理強いをすることなくいつでも参加できるように見守っていく。 ～③～ 2歳児 こちらの取り組みが初の試みではあったので、外部の講師の方の迷惑にならないように事前にどのような動きをすればいいかを聞き、当日は動いていく。 子どもも外部の講師の方がいらして指導されるということも初めてではあり、最初は戸惑いも見えたが、このクラスの特徴でもある人見知りせず誰とでも関わることができるというのが功を奏し、みんなが馴染みながら楽しんで活動することができた。 ・保育者は、子どものサポートを常に行い、人見知りをする子どもだったり気分が高まってふざけてしまう子どもを見守りながら、外部の方の話を聞きながら子どもと一緒に参加していく。	～①～ クラスごとにお気に入りの曲だったり、初めての曲を聴いて踊ったり体操をしたりしていた。 0歳児は、保育室に流れる曲に手を打ったり、身体を揺らしたりと、子どもなりに表現をしていた。 1歳児は、聞きなじみのない曲が流れると棒立ちになり立ちすくむ姿はあったが、数か月もするとその曲を子どもからリクエストしてみんなで踊ったりもしていた。 2歳児は、曲を数回聴いたり保育者の動きを少しずつ真似たりすると何週間後には踊ったり、体操をしたりしていた。 ～②～ 月齢により個人差は生まれてしまうが、クラスごとに難易度を変えてみたり、その難易度が少し難しいと子ども自身から保育者に助けを求め一緒に達成感を味わったりすることができた。 ～③～ 初めての試みではあり、人見知りをしてしまい序盤は参加できずにいた子どもはいたが、終盤になると全員が楽しく参加し「まだやりたい！」という声も上がるぐらい楽しんで活動することができた。 また、講師の方が活動をするうえで”挨拶を大事に”というスローガンを掲げており、始まりの挨拶や終わりの挨拶、感謝する挨拶だったりをさらに身につけることができた。 今回は、2歳児クラスのための参加だったので次回からは全クラスが参加できるようにしていきたい。





みんなで体操だよ！



危ない。危ない。



みんなで体操すると楽しいね！



カエルに変身！



歩けるか

ゆっくり歩こうっと！



こんなことも出来るよ！



よろしくお願いします！



ぐるりん！！



準備体操は大事だね！



ガオー！！

